

公益財団法人わかやま地元力応援基金

2020 年度事業報告

【概要と成果】

2020 年度は、コロナ禍の影響を大きく受け、まちづくりや地域のコミュニティを活性化する活動などが中止また縮小せざるを得ない状況が続いたため、助成事業を縮小して実施する 1 年となった。

継続実施してきた印南まちづくり基金については、20 年度は寄付の受け入れはできたが助成実施については印南町とも相談の上で見送ることとした。また、19 年度に助成決定している地域団体においても助成事業の実施が難しくなった団体については団体と相談の上、21 年度以降で安心して活動できる時期に、あらためて事業を実施できることとした。

指定寄附では、「スポーツの未来基金」は定着化し寄付と助成が継続している。また、全国コミュニティ財団協会との連携により、近畿圏でも休眠預金活用へ向けた事業がスタートし、孤独や孤立対策等に加えてコロナ対策関連で和歌山県内で実行団体を生み出すための取り組みを行った。20 年度はまだ県内からの実行団体は無いが、21 年度には実行団体を生み出したい。事務局運営については

引き続き理事によるボランティア運営を行っているが、寄付者管理の効率化の推進など機能強化・寄付募集体制の充実に努めている。寄付募集に関して、県内2団体から相談を受けた。

次年度も引き続き市民コミュニティ財団として、より認知度の向上を目指し、ファンドレイジングの強化、事務局のより効率的な運営等を進めていく。

■ 資金仲介についての成果 数値寄付・助成プログラムの成果

20年度は、5,812,890円の寄付をもとに市民公益活動を支え、地域課題解決に貢献することができた。

- ・ 地域・テーマ別基金での助成：1,800,000円（和歌山スポーツ未来基金）

各助成プログラムと基金への寄付額のうち10-30%程度（事業による）と財団運営への寄付はそれぞれの助成プログラムや寄付募集の費用としても活用。